

Procure to Pay  
Subledger Standard  
2015年7月版



AuditDataStandards. P2P. July2015  
監査データ標準(仕入・支払編)

Prepared by the AICPA Assurance Services Executive Committee  
Emerging Assurance Technologies Task Force

---

*Copyright © 2015 by American Institute of Certified Public Accountants, Inc. New York, NY 10036-8775*

*Permission is granted to make copies of this work provided that such copies are for personal, intraorganizational, or educational use only and are not sold or disseminated and provided further that each copy bears the following credit line:*

本資料の複製は、個人利用、社内利用、または教育目的の場合のみ、かつ、販売または流布および提供目的ではない場合に、複製物に以下の文言を含めることで許可される。

*“Copyright © 2015 by American Institute of Certified Public Accountants, Inc. Used with permission.”*

*Copyright © 2015 by American Institute of Certified Public Accountants. All rights reserved.  
Translated with permission.*

なお、日本語の本仮翻訳は、AICPA の許可のもと、XBRL Japan 開発委員会ADS サブワーキング (SWGリーダー 公認会計士 木村章展) が実施をした。英語の原文が正である。今後、AICPA でのADS の改訂などを受けて、予告なく翻訳を改訂する場合もある。

---

**Assurance Services Executive Committee (2014–2015)**

Robert Dohrer, <i>Chair</i>	Don Kluthe
Dorsey Baskin	Chris Kradjan
Bradley Beasley	Michael Ptasienski
Greg Bedard	Beth A. Schneider
Nancy Bumgarner	Miklos Vasarhelyi
Chris Halterman	Deetra B. Watson
Charles E. Harris	Don Pallais (Observer)

**Emerging Assurance Technologies Task Force**

**Audit Data Standard Working Group**

William R. Titera, <i>Chair</i>	Steven Henchock
Glenn Galfond, <i>Lead</i>	Mark Mayberry
Paul Barbour	Phillip McCollough
Karl Busch	Josh Phillips
Eric E. Cohen	Joel Pinkus
Charles E. Harris	Miklos Vasarhelyi
Kristine Hasenstab	

**Additional Contributors**

D. J. Elmore  
Gianluca Garbellotto

**AICPA Staff**

Amy Pawlicki <i>Director</i> <i>Business Reporting, Assurance &amp; Advisory Services</i>	Dorothy McQuilken <i>Manager</i> <i>Business Reporting, Assurance &amp; Advisory Services</i>
---	---

## Audit Data Standards 監査データ標準

標準化の利点はよく認識され、様々な一般的なIT標準の開発に結びついている。データ標準が必要な理由は、企業1のデータの効率的な交換に直面しているマネジメント、内部監査人および外部監査人にとって継続した問題である。このプロセスは、経理部門およびIT人員が異なる観点からこのような情報を要求することから複雑になる。例えば、ある場合には、監査関連のデータ依頼は、経理部門からより関与に制限のある企業のIT部門へ直接転送される。多くの場合では、監査人にとってデータ要求は負担である。

AICPAアシュアランスサービスエグゼクティブ委員会は監査および他の関連する目的のために一般に要求されるファイルとフィールドのためのフォーマットの標準化によって監査プロセスの効率性および有効性にこの監査データ標準(ADS)が貢献するだろうと考えている。同様に、もし企業が内部監査人および外部監査人などとデータを共有することを決めれば、標準化された情報(債権者のような)の他の消費者も利益を得るであろう。大企業、そして中小企業、公開若しくは非公開企業は、監査データ標準の適用からさらに利益を得るかもしれない。監査人によって定期的に要求されたデータの標準化によって、企業は情報の要求プロセスを自動化し、複製することができ、それによって、要求されたデータを提供するのに必要な時間と労力を減らすことができる。さらに、企業のスタッフおよび内部監査人は、内部目的のための標準化されたデータを利用することにより強化された解析能力から利益を得るであろう。さらに、この標準はそのデータを外部監査人が強化されたデータ分析を行なうのに利用可能とするであろう。

これらの標準は、良く設計された会計および財務報告システムに導入することができるすぐれた慣行である。この公表物は仕入・支払補助元帳について提示する。

監査データ標準はテクニカル・デザイン(ファイル、テーブル、フィールド、フォーマットなど)、およびその使用についての理解にとって不可欠なデータに関する補足的質問を提示している。前者は、ITシステム設計に対して提示されることが適している。後者は、IT担当者からのインプットを含む経理あるいは財務担当者により共通に提供される。これらが情報の抽出のための任意の推奨されたデータ標準であることに留意すること。これらのデータ抽出標準は必須のものではない。また、権威のある監査あるいは会計基準から提示されたものでもない。

<sup>1</sup> この表現としての企業は、企業、パートナーシップ、政府機関、非営利事業体などを表現するために意図され、営利団体に限定されるものではないことに留意する。

---

特に規模および産業特性により、均一性の価値および個々の企業への適応の利点を認識して、これらの標準は、ある程度の柔軟性を提供する。これらの標準は、各国特有の要件に対応しており、国際的な適用が可能である。これは最低の標準で、制限することが目的ではない。したがって、ユーザはユーザ定義のフィールドをカスタマイズして、作成してもよい(例えば、項目は除かれるべきではない。しかし、標準にまだ存在しないところで、項目が加えられるかもしれない)。しかしながら、標準化(特に示されなかった時)の利点を達成するために、個々のカスタマイゼーションは回避されるべきである(言い換えれば、項目が標準に定義されている場合は、それを再定義しない)。一旦企業が特定の取り決めを採用すれば、主なITシステムの変更の実施や標準化されたデータの供給者および利用者の相互に合意された拡張がない限り、一貫してこの取り決めによってそのデータを提供するべきである。

監査データ標準の規約は、そのデータ標準の設計者が携わった大多数のシステムからの要求を基に設計された。つまり、フラットファイル(パイプ区切り)のフォーマットでは、「反復性」がある特定のフィールドは特定の数字で固定されたことを意味する。次のような場合である。

監査データ標準(基礎編)のBusiness\_Unit\_Listing:

- Business\_Unit\_Hierarchy[1] - [5]

監査データ標準(総勘定元帳編)等のGL\_Detail\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD:

- Segment[01] - [05]

監査データ標準(売掛債権編)または(受注・入金編)のCustomer\_Master\_YYYYMMDD

- 住所および請求先住所

監査データ標準(仕入・支払編)等のInvoices\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD:

- GL\_Debit\_Account\_NumberおよびGL\_Credit\_Account\_Number

最後の例では、入力行には貸方および借方の勘定科目がある。詳細ではなく概要を生成する場合、全請求書には以下の場合を除いて貸方および借方の組が1つのみ存在する。

1. 監査人および被監査会社が、詳細行の最後に貸方および借方の勘定科目を付加することと、そのフォーマットで問題ないことに同意した場合
2. パイプ区切りのフォーマットではなく、XBRL GLフォーマットが使用される場合。XBRL GLカラムの注釈に記載される通り、XBRL GLはフラットファイルフォーマットよりも多くの項目を許可するデータ表現方法を採用している。

---

さらに複雑で階層的または重複する項目が必要になる場合、XBRL GLは監査データ標準を使用した共有データを表現するにはより実用的なフォーマットである。

監査データ標準を導入する企業は、最初に支援のためにエンタープライズ・リソース・プランニング(ERP)か会計パッケージベンダと連絡をとるべきである。ベンダが監査データ標準の適用に対して解決策を持たない場合、ベンダは監査データ標準にマッピングするために利用することができるスクリプトを作成しているため、それを使用してデータを抽出、変換、ロード(またはETL)する。

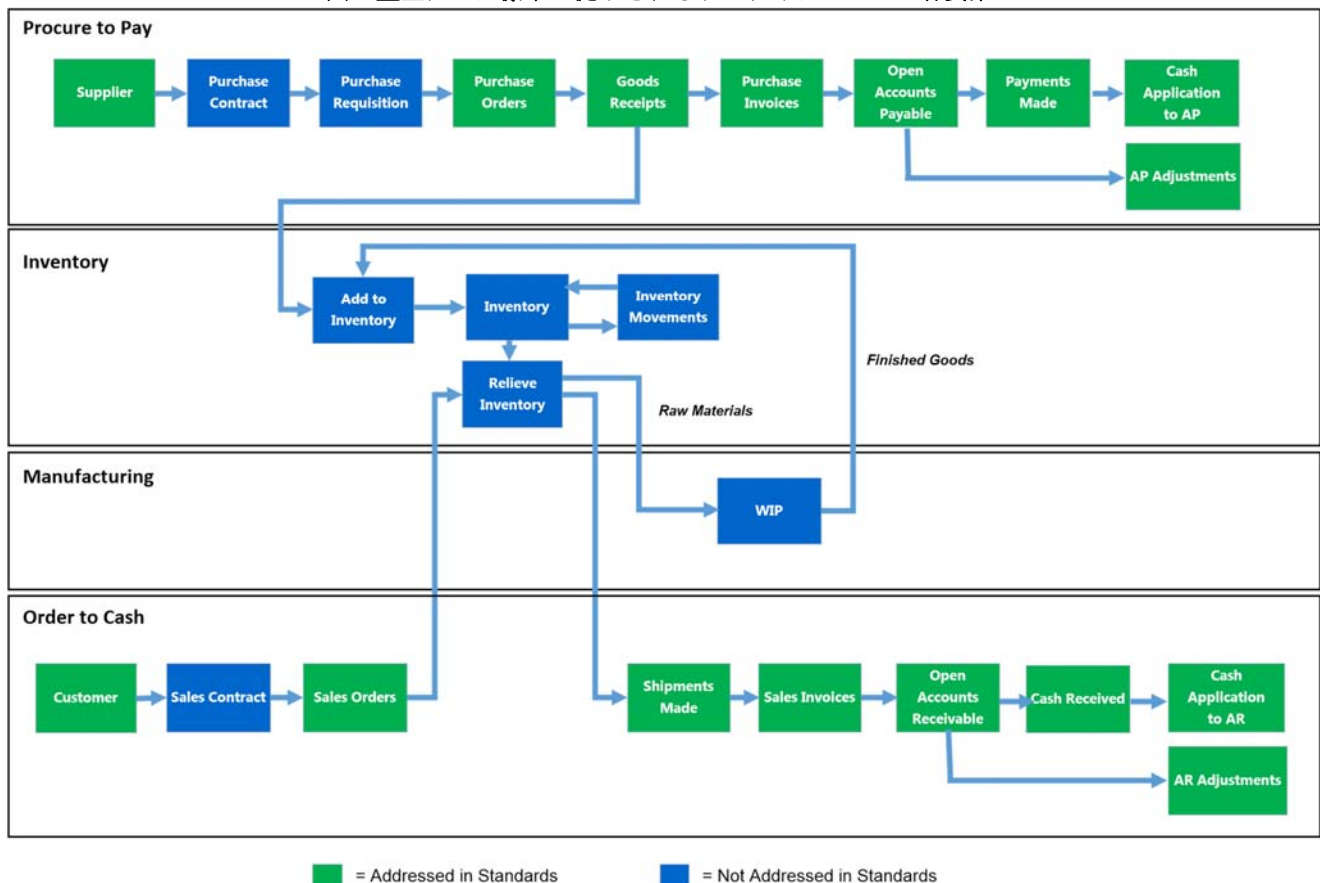
これらのデータ標準を導入する前に、職務分離のテストと内部統制の利用を通じてデータの信頼度が評価されるべきである。これらのタイプの評価標準のためのガイダンスは[aicpa.org](http://aicpa.org)で入手可能である。

## 2. 仕入・支払補助元帳標準

この版の仕入・支払監査データ標準は、仕入・支払における基本的な分析を可能にすることを意図する。その分析とは、例外的に古い債務などで支払されているかについての指定された期間の活動水準の分析などである。この標準は、内部プロセスを改善するために企業のスタッフおよび内部監査によって行なわれるかもしれない分析と同様に監査の一部として行なわれる分析を促進することを意図されている。この標準の更新版では、さらに詳細かつ業種特有の内容が追加され、分析のための機会が拡大される可能性がある。

仕入・支払はサプライチェーンに関連する複数の業務プロセスの一部である。図1はサプライチェーンのプロセスの概要である。この仕入・支払監査データ標準とそれに関連する受注・入金監査データ標準で提示されるサプライチェーンの各要素を示している。

図1: 監査データ標準で提示されるサプライチェーンの各要素

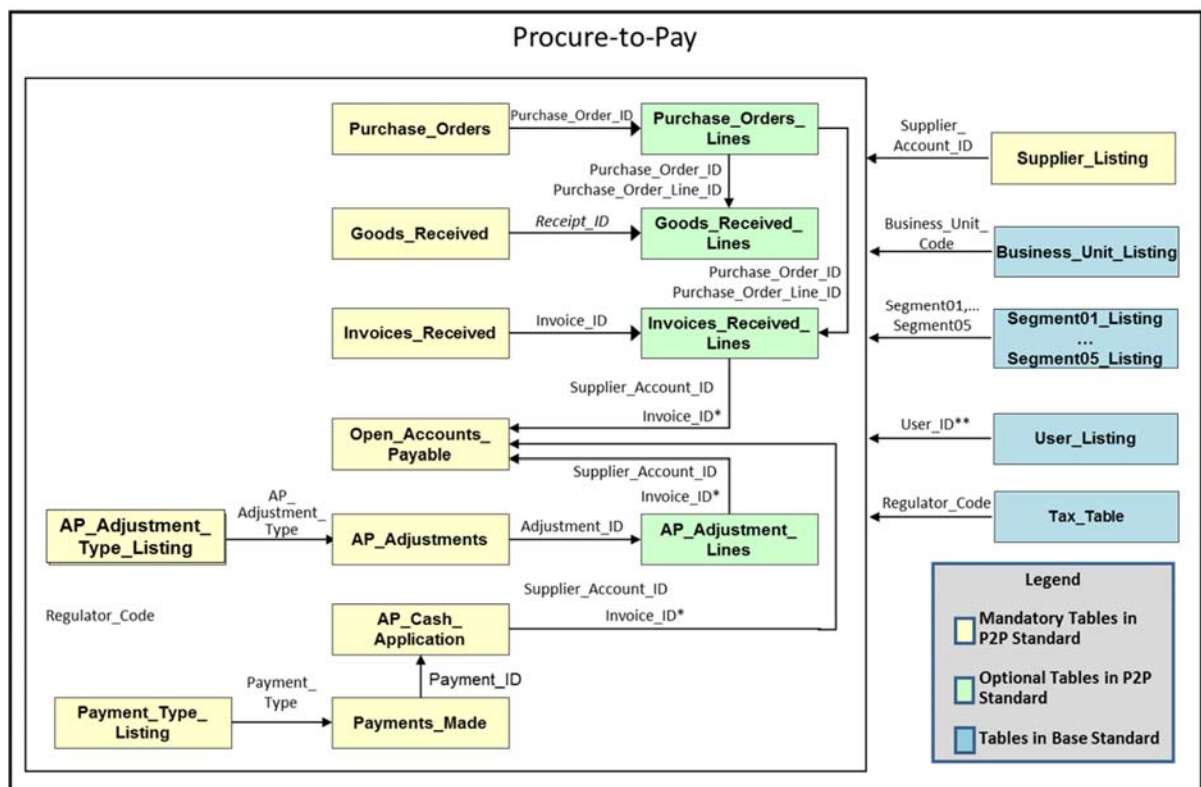


仕入・支払標準監査データは関連情報を含んでいる多数のテーブルで定義されている。図2は、



仕入・支払の標準でテーブルの関係を示すデータ・ダイアグラムを提供している。AICPAのウェブサイトにある基礎標準文書と共に仕入・支払補助元帳標準が使用されるべきであることに留意することが重要である。

図2:仕入・支払監査データ標準におけるテーブル間のデータの関係



\* If payable balances are tracked by supplier only (not by invoice), then Supplier\_Account\_ID is used as a key to join tables to the Open\_Accounts\_Payable table instead of both Supplier\_Account\_ID and Invoice\_ID

\*\* The User\_Listing table can be joined to three fields, all of which contain a user ID - Entered\_by, Approved\_By, Last\_Modified\_By

仕入・支払標準監査データは、「詳細レベル」(仕入注文や請求書等の各明細項目に対する情報があるレベル)で提供されることもあれば、「概要レベル」(仕入注文や請求書等に関する総計情報レベル)で提供されることもある。管理しきれないデータ容量にならない限り、詳細レベルのデータが望ましい。図2では、緑色のテーブルは、詳細レベルのデータが提供される場合は含まれ、概要レベルのデータの場合は含まれない。

仕入・支払標準の各テーブル内にあるデータフィールドの「レベル」カラムは、データの重要性を示すために「1」あるいは「2」、どちらか一方のラベルを持っている。第1レベルの項目は必須である(ITシステムか追加の手段によって利用可能な場合)。第2レベルの項目は推奨されるが、必ずしも入手可能だとは限らないかもしれない。利用可能ではないフィールドは別途指定されるべきである。



---

次のサブセクションでは、仕入・支払監査データ標準について詳述している。

## 2.0 仕入・支払標準データ<sup>2</sup>

- 2.1 Purchase\_Orders\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.2 Purchase\_Orders\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.3 Goods\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.4 Goods\_Received\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.5 Invoices\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.6 Invoices\_Received\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.7 Open\_Accounts\_Payable\_YYYYMMDD
- 2.8 Payments\_Made\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.9 AP\_Cash\_Application\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.10 AP\_Adjustments\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.11 AP\_Adjustments\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD
- 2.12 Payment\_Type\_Listing\_YYYYMMDD
- 2.13 AP\_Adjustment\_Type\_Listing\_YYYYMMDD
- 2.14 Supplier\_Listing\_YYYYMMDD

タブ区切りのフォーマットによる「フラット」な(階層構造を持たない、記録単位による)設計であるため、「明細項目」(詳細)はファイル構造内で定義されたPurchase\_Orders\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDおよびPurchase\_Orders\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDなどのヘッダからは分離する必要があることに留意したほうがよい。次のXBRL GLガイダンスは、監査データ標準のプロファイルとしてこの分離を規定する。ただし、XBRL GLは、情報交換における事前の同意によって、XMLの特性を利用してヘッダと詳細項目を結合して単一のファイルにすることができるため、ファイルの生成および交換ではより効率的で有力な手段となり得る。「1つの請求に対して1レコード」または「各出荷に関連する複数の販売注文に対して1レコード」というようなことまで言及する指示は、フラットファイルフォーマットの限界を表す。例えば、XBRL GLではgl-tag:originatingDocument構造を利用することにより、1つのentryDetailを幅広い種類の関連する元文書に関連付けることができる(XBRL GLの指示では、可能な場合は、互換性を目的としてフラットファイルの制限を模倣するように設計されている)。

---

<sup>2</sup> テーブルに2つの日付を含む場合、その日付は抽出期間の開始日と終了日を表すことに留意する。テーブルに1つの日付を含む場合、その日付はデータ抽出日である。



フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素 <sup>1</sup>	説明
			データ型	長さ <sup>2</sup>		
2	Purchase_Order_Document_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentNumber	仕入注文の識別子番号または識別子コード。
3	Purchase_Order_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate	仕入注文日。仕入注文が入力された日とは関係がない。
4	Purchase_Order_Fiscal_Year	1	TEXT	4	gl-bus:fiscalYearEnd	Purchase_Order_Dateが記帳された会計期間。 YYYYは区切りに使用される。XBRL GLタクソノミフレームワークのための会計期末CCYY-MM-DD (ISO 8601)。
5	Purchase_Order_Period	1	TEXT	10	gl-bus:postingCode	Purchase_Order_Dateが記帳された会計期間。  例には、週単位の期間としてW1-W53、月単位の期間としてM1-M12、四半期単位の期間としてQ1-Q4を含む。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素 <sup>1</sup>	説明
			データ型	長さ <sup>2</sup>		
6	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-bus:organizationIdentifier	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listingファイル内のBusiness_Unit_Codeと一致しなければならない。
7	Supplier_Account_ID	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierType = "vendor"	支払先の供給業者の識別子か、買掛計上先の供給業者の識別子。Supplier_Listing_YYYYMMDDファイル内のSupplier_Account_IDに一致しなければならない。
8	Purchase_Order_Requisition_ID	2	TEXT	100	gl-taf:originatingDocumentNumber with gl-taf:originatingDocumentType = "order-requisition" *	各仕入注文に一意的識別子。複数フィールドの結合が必要な場合がある。
9	Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierCategory = "systemUser"	記録を残した人の (User_Listingファイル内の)User_ID。

10	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく)システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
11	Entered_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of glcor:enteredDate, mentioned previously.)	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM)(例: PM1:00 = 1300)。
12	Approved_By	2	TEXT	100	gl-cor:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の(User_Listingファイルの)ユーザID。
13	Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力が承認された日付。
14	Approved_By_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:nextDateRepeat, mentioned previously.)	入力が承認された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM)(例: PM1:00 = 1300)。
15	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	この入力を最後に修正したユーザの(User_Listingの)User_ID。
16	Last_Modified_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
17	Last_Modified_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:lastDateRepeat, menti	The time the entry was last modified. ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM)(例: PM1:00 = 1300)。



					oned previously.)	
注記: 詳細(明細項目)データが提供される場合、次のフィールドは省略される場合がある。						

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素 <sup>1</sup>	説明
			データ型	長さ <sup>2</sup>		
18	Purchase_Order_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での取引金額。
19	Purchase_Order_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。
20	Segment01	2	TEXT	25	gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType  (Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using  gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。



21	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
22	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
23	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
24	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

#### XBRL GLへの追加コメント

仕入注文リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。 [other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads: Purchase_Orders_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、 この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

## 2.2 Purchase\_Orders\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD

Purchase\_Orders\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイルには、Purchase\_Orders\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイル内にある仕入注文に対する詳細な明細項目が含まれる。このファイルの使用は任意であるが、管理しきれないデータ容量ではない限り、使用することが推奨される。

このファイルでは、仕入注文の各明細項目に対してそれぞれ1レコードとなる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素 <sup>4</sup>	説明
			データ型	長さ <sup>5</sup>		
1	Purchase_Order_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference with glcor:documentType = "order-vendor"	各仕入注文に一意の識別子。このIDは、各仕入注文を一意に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。

<sup>4</sup> XBRL GLファイル構造のサブディレクトリ¥plt¥case-c-b-m-u-tにあるXMLスキーマファイルgl-plt-2006-10-25.xsdのエントリポイントから取得される。事前の合意がない限り、これはschemaLocationに使用されるべきである。後日の草案の合意が得られない、又は有益でない限り、ユーザは、最新の利用可能な推奨バージョンを利用する必要がある。

<sup>5</sup> 文書全体を通して、この列は、推奨される最大の長さを示している。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素 <sup>3</sup>	説明
			データ型	長さ <sup>4</sup>		
2	Purchase_Order_Line_ID	1	TEXT	10	gl-cor:lineNumber	仕入注文の明細行番号の識別子。
3	Purchase_Order_Line_Product_ID	1	TEXT	25	gl-bus:measurableID	各仕入商品に一意の識別子。このIDは、(例えば、事業単位、商品番号、および年など)は、各商品を一意に識別するためのフィールドを連結することによって作成される必要がある。
4	Purchase_Order_Line_Product_Description	1	TEXT	100	gl-bus:measurableDescription	商品の名前やその他の識別する特徴を表す説明(平易な英語)。
5	Purchase_Order_Line_Product_Group_01	2	TEXT	25	gl-bus:measurableCodeDescription	商品の記述子(01)。例えば、タイヤや付属品など。
6	Purchase_Order_Line_Product_Group_02	2	TEXT	25	gl-bus:measurableCategory	商品の記述子(02)。例えば、銘柄など。
7	Purchase_Order_Line_Quantity	1	NUMERIC		gl-bus:measurableQuantity	仕入注文明細行の数量。
8	Purchase_Order_Line_Unit_of_Measure	2	TEXT	25	gl-bus:measurableUnitOfMeasure	仕入注文明細行の基本計量単位。
9	Purchase_Order_Line_Unit_Price	1	NUMERIC		gl-bus:measurableCostPerUnit	仕入注文明細行の単位当たりの価格。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素 <sup>3</sup>	説明
			データ型	長さ <sup>4</sup>		
10	Purchase_Order_Line_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での取引金額。
11	Purchase_Order_Line_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。
12	Segment01	2	TEXT	25	gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType  (Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。
13	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

14	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
15	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
16	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

### XBRL GLへの追加コメント

仕入注文の明細項目リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。[other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads:Purchase_Orders_Lines_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

### 2.3 Goods\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Receipt_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference	出荷受領済みの各取引に一意の識別子。このIDは、各出荷を一意に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。
2	Receipt_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate	受領日(受領された日)。
3	Receipt_Fiscal_Year	1	TEXT	4	gl-bus:fiscalYearEnd	Receipt_Dateが記帳された会計年度。YYYYは区切りに使用される。XBRL GLタクソノミフレームワークのための会計期末CCYY-MM-DD(ISO 8601)。
4	Receipt_Period	1	TEXT	10	gl-bus:postingCode	Receipt_Dateが記帳された会計期間。  例には、週単位の期間としてW1-W53、月単位の期間としてM1-M12、四半期単位の期間としてQ1-Q4を含む。

---

Goods\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイルは、少なくとも、調査中の期間内に行われた仕入注文に対するすべての出荷および出荷調整を含む。このファイルには、出荷の受領が会計期間の前に行われた場合であっても、調査中の期間内に記録された取引(請求書の受領や支払完了など)に関連するすべての出荷の受領が含まれるのが理想的である。監査人は、含めるべき出荷履歴を決定するための判断をしなければならない。このファイルには、関係がない産業(例えば、サービス業など)もある。

このファイルでは、各出荷に関連付けられる各仕入注文に対してそれぞれ1レコードとなる。例えば、1つの出荷に3つの仕入注文からの商品が含まれていた場合、この出荷に対しては3つのレコードがあることになり、1レコードは3つの仕入注文のうちの1つずつに関連付けられる出荷内の複数商品に対応する。



フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
5	Adjustment_Indicator	2	TEXT	1	gl-cor:detailComment with values “0” or “1” ; gl-cor:documentType of “receipt”	取引がはじめの領収済み取引の場合は「0」となり、領収調整の場合は「1」となる。
6	Adjustment_Description	2	TEXT	100	gl-cor:documentTypeDescription	領収調整が行われている場合における、その調整の理由についての説明。
7	Receipt_Document_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentNumber	出荷帳票の参照番号(企業参照番号または物流企業識別子)。
8	Supplier_Account_ID	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierType = “vendor”	商品を提供する供給業者の識別子。Supplier_Listing_YYYYMMDDファイル内のSupplier_Account_IDと一致しなければならない。
9	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-bus:organizationIdentifier	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listingファイル内のBusiness_Unit_Codeと一致しなければならない。

10	Purchase_Order_ID	1	TEXT	100	gl-taf:originatingDocumentNumber with gl-taf:originatingDocumentType = "order-vendor" *	各仕入注文に一意的識別子。Purchase_Orders_YYYYMMDD_YYYYMDDファイル内のPurchase_Order_IDに一致しなければならない。  仕入注文がない場合、空白のままにする。
11	Purchase_Order_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate*	仕入注文日。仕入注文が入力された日とは関係がない。仕入注文がない場合、空白のままにする。
12	Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierCategory = "systemUser"	記録を残した人の(User_Listingファイル内の)User_ID。
13	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく)システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
14	Entered_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of glcor:enteredDate, mentioned previously.)	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM)(例: PM1:00 = 1300)。
15	Approved_By	2	TEXT	100	gl-cor:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の(User_Listingファイルの)ユーザID。
16	Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力が承認された日付。
17	Approved_By_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:nextDateRepeat, mentioned previously.)	入力が承認された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM)(例: PM1:00 = 1300)。
18	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	この入力を最後に修正したユーザの(User_Listingの)User_ID。
19	Last_Modified_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
20	Last_Modified_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:lastDateRepeat, mentioned previously.)	入力が最後に変更された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM)(例: PM1:00 = 1300)。
注記:詳細(明細項目)データが提供される場合、次のフィールドは省略される場合がある。						

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
21	Receipt_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount *	現地通貨による、仕入注文に関連する受領帳票の品目の合計金額。
22	Receipt_Amount_Local	1	TEXT	3	gl-muc:amountCurrency*	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。
23	Purchase_Order_Amount_Local	1	NUMERIC		Gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での取引金額。仕入注文がない場合、空白のままにする。
24	Purchase_Order_Local_Currency	1	TEXT	3	Gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。仕入注文がない場合、空白のままにする。

25	Segment01	2	TEXT	25	<p>gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType</p> <p>(Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)</p>	<p>プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。</p>
26	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
27	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
28	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
29	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

## XBRL GLへの追加コメント

受取商品リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。 [other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads: Goods_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通して いるものを説明する説明フィールドであ り、 この表現に関連して収集するタイプの監 査データ標準の名前空間と修飾子を導入 する。

\* 領収は複数の注文に対して行うことができるため、元の注文番号に関連する注文からの各注文明細行は、独立した1つのentryDetailとして表示され、注文明細行（元の注文情報を含む）と受領明細行（元の注文情報を含まない、入力の見出しをグループ化することで関連付けられる）は区別される。

## 2.4 Goods\_Received\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD

Goods\_Received\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイルには、Goods\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイル内にあるすべての出荷および出荷調整に対する詳細な明細項目が含まれる。このファイルの使用は任意であるが、管理しきれないデータ容量ではない限り、使用することが推奨される。このファイルには、関係がない産業(例えば、サービス業など)もある。

このファイルでは、各出荷または各出荷調整の各明細項目に対してそれぞれ1レコードとなる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Receipt_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference	出荷受領済みの各取引に一意の識別子。このIDは、各出荷を一意に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。
2	Receipt_Document_Line_ID	1	TEXT	10	gl-cor:lineNumber*	受領帳票の明細行の参照番号。
3	Receipt_Product_ID	1	TEXT	25	gl-bus:measurableID	各商品に一意の識別子。
4	Receipt_Product_Description	1	TEXT	100	gl-bus:measurableDescription	商品の名前やその他の識別する特徴を表す説明(平易な英語)。



5	Receipt_Product_Bar_Code	2	TEXT	100	gl-bus:measurableIDOther	商品統一コード(UPC)またはその他の一般識別子。
---	--------------------------	---	------	-----	--------------------------	---------------------------

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
6	Receipt_Product_Group_01	2	TEXT	25	gl-bus:measurableCodeDescription	商品の記述子(01)。例えば、タイヤや付属品など。
7	Receipt_Product_Group_02	2	TEXT	25	gl-bus:measurableCategory	商品の記述子(02)。例えば、銘柄など。
8	Receipt_Quantity	1	NUMERIC		gl-bus:measurableQuantity	受領された商品量。
9	Receipt_Unit_of_Measure	2	TEXT	25	gl-bus:measurableUnitOfMeasure	計量の基本単位。
10	Receipt_Unit_Price	1	NUMERIC		gl-bus:measurableCostPerUnit	受領された商品の単位あたりの価格。
11	Receipt_Line_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount *	現地通貨による、仕入注文に関連する受領帳票の明細項目の金額。
12	Receipt_Line_Amount_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency*	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。

13	Purchase_Order_Line_ID	1	TEXT	10	gl-cor:lineNumber*	受領された商品に対する仕入注文の明細行ID。Purchase_Orders_YYYYMMDD_YYYYMMDDファイル内で使用されるPurchase_Order_Line_IDに一致しなければならない。  仕入注文がない場合、空白のままにする。
14	Purchase_Order_Quantity	2	NUMERIC		gl-bus:measurableQuantity	仕入注文明細行の品目量。仕入注文がない場合、空白のままにする。
15	Purchase_Order_Unit_of_Measure	2	TEXT	25	gl-bus:measurableUnitOfMeasure	仕入注文明細行の基本計量単位。仕入注文がない場合、空白のままにする。
16	Purchase_Order_Unit_Price	2	NUMERIC		gl-bus:measurableCostPerUnit	仕入注文明細行の単位当たりの価格。仕入注文がない場合、空白のままにする。
17	Purchase_Order_Line_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨による、領収済み出荷帳票に関連する仕入注文内の明細項目の金額。仕入注文がない場合、空白のままにする。
18	Purchase_Order_Line_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。仕入注文がない場合、空白のままにする。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
19	Segment01	2	TEXT	25	gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType  (Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。
20	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
21	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
22	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
23	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

### XBRL GLへの追加コメント

受取商品リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。[other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads:Goods_Received_Lines_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

\* 領収は複数の注文に対して行うことができるため、元の注文番号に関連する注文からの注文明細行は、独立した1つのentryDetailとして表示され、注文明細行(元の注文情報を含む)と受領明細行(元の注文情報を含まない、入力の見出しをグループ化することで関連付けられる)は区別される。

---

## 2.5 Invoices\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD

Invoices\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイルは、少なくとも、調査中の期間内に生成されたすべての請求書を含む。このファイルには、請求書の受領が前期に行われた場合であっても、調査中の期間内に記録された取引(支払完了など)に関連するすべての請求書が含まれるのが理想的である。監査人は、含めるべき過去の請求書を決定するための判断をしなければならない。

このフラットフォーマットファイルでは、各請求書に関連付けられる各仕入注文に対してそれぞれ1レコードとなる。例えば、1つの請求書に3つの仕入注文からの商品が含まれていた場合、この請求書に対しては3つのレコードがあることになり、1レコードは3つの仕入注文の1つずつに関連付けられる請求書内の複数商品に対応する。

XBRL GLはgl-taf:originatingDocumentNumberを利用してgl-cor:entryDetail行に関連する取引文書に関連付ける。ただし、この設計では、個別のglcor:entryHeaderレコードを使用することでフラットファイルフォーマットでより大きな比較可能性を持つ。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Invoice_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference	各請求書に一意的識別子。このIDは、各取引を一意的に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。請求書データを含む次のすべてのテーブルと同じIDが使用されていない (Invoices_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD、Open_Accounts_Payables_YYYYMMDD、AP_Cash_Application_YYYYMMDD_YYYYMMDD、およびAP_Adjustments_YYYYMMDD_YYYYMMDD)。
2	Invoice_Number	1	TEXT	100	gl-cor:documentNumber with glcor:documentType = "invoice"	外部で作成された請求書の識別番号。
3	Invoice_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate	請求書の日付。請求書が入力された日付とは関係がない。請求書の条件に基づいて計算された日付。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
4	Invoice_Fiscal_Year	1	TEXT	4	gl-bus:fiscalYearEnd	Invoice_Dateが記帳された会計年度。YYYYは区切りに使用される。XBRL GLタクソノミフレームワークのための会計期末CCYY-MM-DD (ISO 8601)。
5	Invoice_Period	1	TEXT	10	gl-bus:postingCode	Invoice_Dateが記帳された会計期間。  例には、週単位の期間としてW1-W53、月単位の期間としてM1-M12、四半期単位の期間としてQ1-Q4を含む。
6	Invoice_Due_Date	1	DATE		gl-cor:MaturityDate	供給業者への支払期日。すべての取引に支払期日があるわけではない(例えば、貸方メモなど)。債務の年齢調べは、通常はこの日付に基づいて計算される。



7	Purchase_Order_ID	1	TEXT	100	gl-taf:originatingDocumentNumber with gl-taf:originatingDocumentType = "order-vendor" *	各仕入注文に一意的識別子。 Purchase_Orders_YYYYMMDD_YYYYMDDファイル内のPurchase_Order_IDに一致しなければならない。  仕入注文がない場合、空白のままにする。
8	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:organizationidentifier	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listingファイル内のBusiness_Unit_Codeと一致しなければならない。
9	Supplier_Account_ID	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glidentifierType = "vendor"	支払先の供給業者の識別子か、買掛計上先の供給業者の識別子。 Supplier_Listing_YYYYMMDDファイル内のSupplier_Account_IDに一致しなければならない。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
10	Terms_Discount_Percentage	2	NUMERIC		gl-cor:terms	請求書の一定の日数前に支払われる場合の供給業者が提示する割引率。フラットファイルでは、小数点以下1桁として表現される(例えば、10%が10.0として表現される)。XBRL GLにおいては、3フィールドの9、10、11は、例えば2%と「xx.x% dd、Net dd」の形式で入力されることになる。拡張事業報告言語のXBRL GLタクソノミフレームワークにおいては、3つのフィールドTerms_Discount_Percentage、Terms_Discount_DaysおよびTerms_Due_Daysの3つのフィールドは、「xx.x% dd Net dd」の形式で入力されることになる。例えば実質支払期間が30日で、10日以内に支払うと2%割引となる場合は「2% 10 Net 30」で表現される。
11	Terms_Discount_Days	2	NUMERIC		フィールド番号10の説明を参照。	請求書日付からの日数は、供給業者が割引を許可するために有利である。これは小数点以下がない桁数(例えば、nnn)として数字として

						表現される。
--	--	--	--	--	--	--------

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
12	Terms_Due_Days	2	NUMERIC		See description for field #10 explicit in gl-cor:materialityDate	請求書に対する支払遅延となる前の、支払義務を果たすことが可能な日数。
13	Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierCategory = "systemUser"	記録を残した人の (User_Listingファイル内の) User_ID。
14	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく) システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
15	Entered_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of glcor:enteredDate, mentioned previously.)	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻 (HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
16	Approved_By	2	TEXT	100	gl-cor:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の (User_Listingファイルの) ユーザID。

17	Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力承認された日付。
18	Approved_By_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:nextDateRepeat, mentioned previously.)	入力承認された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
19	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	この入力を最後に修正したユーザの(User_Listingの)User_ID。
20	Last_Modified_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力最後に変更された日付。
21	Last_Modified_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:lastDateRepeat, mentioned previously.)	入力最後に変更された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
注記: 詳細(明細項目)データが提供される場合、次のフィールドは省略される場合がある。						

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
22	Invoice_Amount	1	NUMERIC		gl-cor:amount	機能通貨またはグループ通貨で記録された取引金額。すべて取引が単一通貨に記録されているため、多通貨換算を実行する必要はない。
23	Invoice_Amount_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountCurrency	請求金額に関連する機能通貨やグループ通貨。ISO 4217コーディングを参照。
24	Invoice_Amount_Reporting	1	NUMERIC		gl-muc:amountTriangulationAmount	報告通貨で記録された取引金額。
25	Invoice_Reporting_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountTriangulationCurrency	非連結報告のための請求書の報告金額に関連する報告通貨。ISO 4217コーディングを参照。
26	Invoice_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での取引金額。
27	Invoice_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。
28	Tax1_Type	1	TEXT	25	gl-cor:taxCode (Note that XBRL GL permits an unlimited number of tax codes and amounts with the glcor:taxes structure.)	税1タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。  このフィールドは、Tax_Table_YYYYMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
29	Tax2_Type	1	TEXT	25	同上	税2タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。  このフィールドは、Tax_Table_YYYYMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。
30	Tax3_Type	1	TEXT	25	同上	税3タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。  このフィールドは、Tax_Table_YYYYMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。
31	Tax1_Type_Description	1	TEXT	100	gl-cor:taxDescription (Note that XBRL GL formalizes the tax authority with gl-cor:taxAuthority and provides other standard fields as well.)	税1タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
32	Tax2_Type_Description	1	TEXT	100	同上	税2タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
33	Tax3_Type_Description	1	TEXT	100	同上	税3タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
34	Tax1_Local	2	NUMERIC		gl-cor:taxAmount	税1タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。
35	Tax2_Local	2	NUMERIC		同上	税2タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。
36	Tax3_Local	2	NUMERIC		同上	税3タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。

37	Segment01	2	TEXT	25	<p>gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType</p> <p>(Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)</p>	<p>プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。</p>
38	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
39	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
40	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
41	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照



## XBRL GLへの追加コメント

請求書受領リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。 [other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads: Invoices_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、 この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

\* 請求書は多くの場合領収書に反映され、領収書は複数の注文に対して発行されるため、元の注文番号に関連する注文や受領からの各請求明細行は、独立した1つのentryDetailとして表示され、注文明細行(元の注文情報を含む)と請求明細行(元の注文情報はない、入力の見出しをグループ化することで関連付けられる)は区別される。

---

## 2.6 Invoices\_Received\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD

Invoices\_Received\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイルには、Invoices\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイル内にある請求書の詳細な明細項目が含まれる。

このファイルの使用は任意であるが、管理しきれないデータ容量ではない限り、使用することが推奨される。

このファイルでは、請求書の明細項目または仕入注文の明細項目の各組み合わせに対してそれぞれ1レコードとなる。通常は請求書の各明細項目は仕入注文の1つの明細項目に関連付けられるため、このファイルでは請求書の各明細項目に対してそれぞれ1レコードとなる。稀に、請求書の明細項目が複数の仕入注文の明細項目に関連付けられていることがあり、この場合は、このファイルでは請求書の明細項目に関連する仕入注文の各明細項目に対してそれぞれ1レコードとなる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Invoice_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference	各請求書に一意的識別子。このIDは、各取引を一意的に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。請求書データを含む次のすべてのテーブルと同じIDが使用されていない (Invoices_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD、Open_Accounts_Payables_YYYYMMDD、AP_Cash_Application_YYYYMMDD_YYYYMMDD、およびAP_Adjustments_YYYYMMDD_YYYYMMDD)。
2	Invoice_Line_ID	1	TEXT	10	gl-cor:lineNumber*	請求書の明細項目番号。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
3	Purchase_Order_ID	1	TEXT	100	gl-taf:originatingDocumentNumber with gl-taf:originatingDocumentType = "order-vendor" *	各仕入注文に一意の識別子。Purchase_Orders_YYYYMMDD_YYMMDDファイル内のPurchase_Order_IDに一致しなければならない。仕入注文がない場合、空白のままにする。
4	Purchase_Order_Line_ID	1	TEXT	10	gl-cor:lineNumber*	仕入注文の明細行番号の識別子。Purchase_Orders_Lines_YYMMDD_YYYYMMDDファイル内で使用されるPurchase_Order_Line_IDに一致しなければならない。仕入注文がない場合、空白のままにする。
5	Invoice_Product_ID	1	TEXT	25	gl-bus:measurableID	各仕入商品に一意の識別子。
6	Invoice_Product_Description	1	TEXT	100	gl-bus:measurableDescription	商品の名前やその他の識別する特徴を表す説明(平易な英語)。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
7	Invoice_Product_Group_01	2	TEXT	25	gl-bus:measurableCodeDescription	商品の記述子(01)。例えば、タイヤや付属品など。
8	Invoice_Product_Group_02	2	TEXT	25	gl-bus:measurableCategory	商品の記述子(02)。例えば、銘柄など。
9	Invoice_Line_Amount	1	NUMERIC		gl-cor:amount	機能通貨またはグループ通貨で記録された取引金額。すべて取引が単一通貨に記録されているため、多通貨換算を実行する必要はない。
10	Invoice_Line_Amount_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountCurrency	請求金額に関連する機能通貨やグループ通貨。ISO 4217コーディングを参照。
11	Invoice_Line_Amount_Reporting	1	NUMERIC		gl-muc:amountTriangulationAmount	報告通貨で記録された取引金額。
12	Invoice_Line_Reporting_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountTriangulationCurrency	非連結報告のための請求書の報告金額に関連する報告通貨。ISO 4217コーディングを参照。
13	Invoice_Line_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での取引金額。

14	Invoice_Line_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。
15	Tax1_Type	1	TEXT	25	gl-cor:taxCode (Note that XBRL GL permits an unlimited number of tax codes and amounts with the glcor:taxes structure.)	税1タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。  このフィールドは、Tax_Table_Y YYYYMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。
16	Tax2_Type	1	TEXT	25	同上	税2タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。  このフィールドは、Tax_Table_Y YYYYMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。
17	Tax3_Type	1	TEXT	25	同上	税3タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。  このフィールドは、Tax_Table_Y YYYYMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
18	Tax1_Type_Description	1	TEXT	100	gl-cor:taxDescription (Note that XBRL GL formalizes the tax authority with gl-cor:taxAuthority and provides other standard fields as well.)	税1タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
19	Tax2_Type_Description	1	TEXT	100	同上	税2タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
20	Tax3_Type_Description	1	TEXT	100	同上	税3タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
21	Tax1_Local	2	NUMERIC		gl-cor:taxAmount	税1タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。
22	Tax2_Local	2	NUMERIC		同上	税2タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。
23	Tax3_Local	2	NUMERIC		同上	税3タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
24	GL_Line_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = "debit-value" in a second account structure	取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
25	GL_Line_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = "credit-value" in a second account structure  (Note:XBRL GL permits an unlimited number of accounts or values with a transaction, and is not limited to a single debit or credit value.)	取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。



26	GL_Tax1_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	<p>XBRL GL does not have fields explicitly associating GL accounts to tax, although it does permit specification of accounts as tax accounts (gl-cor:accountPurposeCode); it associates tax detail in the glcor:taxes structure with specific accounts by including them within the same gl-cor:entryDetail if the glcor:amount is the same, or within the same gl-cor:entryHeader if amounts differ. As with the previous GL lines, the account numbers would be mapped to glcor:accountMainID.</p>	<p>税1の取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。</p>
----	------------------------------	---	------	-----	--	------------------------------------

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
27	GL_Tax1_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税1の取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。
28	GL_Tax2_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税2の取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
29	GL_Tax2_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税2の取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。
30	GL_Tax3_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税3の取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
31	GL_Tax3_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税3の取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。

32	Segment01	2	TEXT	25	<p>gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType</p> <p>(Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)</p>	<p>プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。</p>
33	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
34	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
35	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
36	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

#### XBRL GLへの追加コメント

請求書受領リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。[other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads: Invoices_Received_Line_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

\* 請求書は多くの場合領収書に反映され、領収書は複数の注文に対して発行できるため、元の注文番号に関連する注文や受領からの各請求明細行は、独立した1つのentryDetailとして表示され、注文明細行(元の注文情報を含む)と請求明細行(元の注文情報はない、入力の見出しをグループ化することで関連付けられる)は区別される。

## 2.7 Open\_Accounts\_Payable\_YYYYMMDD

Open\_Accounts\_Payable\_YYYYMMDDテーブルには、指定期日（監査期間の終了あるいは年度末のような）の業務の完了の時点でのすべての未決、未払、あるいは未解決の債務取引に関する詳細を含んでいる。調査中の期間における買掛債務残高のロールフォワードの場合に、これらのファイルが2つになる場合がある。

このテーブル中の列は、1つのユニークで識別可能な取引について供給業者への支払いが期待される残高を表わす。このファイルは請求書毎の概要レベルである必要はあるが、請求書の明細項目ごとの詳細レベルである必要はない。指定期日の時点での取引金額の合計は、同じ日時の時点での総勘定元帳(GL)中の買掛債務金額合計と一致するはずである。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Supplier_Account_ID	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierType = {vendor}	支払先の供給業者の識別子か、買掛計上先の供給業者の識別子。Supplier_Listing_YYYYMMDDファイル内のSupplier_Account_IDに一致しなければならない。

2	Invoice_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference	<p>各請求書に一意的識別子。このIDは、各取引を一意的に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。請求書データを含む次のすべてのテーブルと同じIDが使用されていないなければならない</p> <p>(Invoices_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD、Open_Accounts_Payables_YYYYMMDD、AP_Cash_Application_YYYYMMDD_YYYYMMDD、およびAP_Adjustments_YYYYMMDD_YYYYMMDD)。</p>
3	Invoice_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate	<p>請求書の日付。請求書が入力された日付とは関係がない。請求書の条件に基づいて計算された日付。</p>

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
4	Invoice_Due_Date	1	DATE		gl-cor:maturityDate	供給業者への支払期日。すべての取引に支払期日があるわけではない（例えば、貸方メモなど）。債務の年齢調べは、通常はこの日付に基づいて計算される。
5	Balance_Amount	2	NUMERIC		gl-taf:documentRemainingBalance	機能通貨またはグループ通貨で記録された残高金額。すべて取引が単一通貨に記録されているため、多通貨換算を実行する必要はない。
6	Balance_Amount_Currency	2	TEXT	3	gl-muc:amountCurrency	残高に関連する機能通貨やグループ通貨。ISO 4217コーディングを参照。
7	Balance_Amount_Reporting	1	NUMERIC		gl-muc:amountTriangulationAmount	報告通貨で記録された残高金額。
8	Balance_Reporting_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountTriangulationCurrency	非連結報告のための残高の報告金額に関連する報告通貨。ISO 4217コーディングを参照。
9	Balance_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での残高金額。
10	Balance_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
11	Original_Balance_Amount	1	NUMERIC		gl-cor:amount	機能通貨またはグループ通貨で記録されたはじめの残高(はじめの請求金額)。すべて取引が単一通貨に記録されているため、多通貨換算を実行する必要はない。
12	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-bus:organizationIdentifier	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listingファイル内のBusiness_Unit_Codeと一致しなければならない。



13	Segment01	2	TEXT	25	gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType  (Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。
14	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
15	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
16	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
17	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

### XBRL GLへの追加コメント

未決買掛債務リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。 [other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads:Open_Accounts_Payables_YYY YMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通して いるものを説明する説明フィールドであ り、 この表現に関連して収集するタイプの監 査データ標準の名前空間と修飾子を導入 する。

## 2.8 Payments\_Made\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD

Payments\_Made\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイルには、期間内のすべての支払済の取引(小切手、電信送金、現金など)が含まれる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Payment_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference	支払済みの各取引に一意的識別子。このIDは、(例えば、供給業者番号や支払番号)は、各取引を一意的に識別するためのフィールドを連結することによって作成される必要がある。
2	Supplier_Account_ID	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierType = "vendor"	支払先の供給業者の識別子か、買掛計上先の供給業者の識別子。Supplier_Listing_YYYYMMDDファイル内のSupplier_Account_IDに一致しなければならない。
3	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-bus:organizationIdentifier	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listingファイル内のBusiness_Unit_Codeと一致しなければならない。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
4	Payment_Date	1	DATE		gl-bus:documentReceivedDate	支払日、または買掛計上の日付。
5	Payment_Fiscal_Year	1	TEXT	4	gl-bus:fiscalYearEnd	Payment_Dateが記帳された会計年度。YYYYは区切りに使用される。XBRL GLタクソノミフレームワークのための会計期末CCYY-MM-DD (ISO 8601)。
6	Payment_Period	1	TEXT	10	gl-bus:postingCode	Payment_Dateが記帳された会計期間。  例には、週単位の期間としてW1-W53、月単位の期間としてM1-M12、四半期単位の期間としてQ1-Q4を含む。
7	Reference_Number	1	TEXT	100	gl-cor:documentNumber	内部または外部で生成された取引の識別番号(例えば、小切手番号、電信送金番号、または原始文書ID)。
8	Reference_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate	外部で生成された取引の日付(例えば、小切手日付や電信送金日付)。

9	Amount_Credit_Debit_Indicator	1	TEXT	1	gl-cor:debitCreditCode	金額は借方か貸方かの指標。“C”は貸方、“D”は借方。
10	Payment_Type	1	TEXT	25	gl-cor:documentType = “check” or gl-cor:documentType = “payment-other” with code in glbus:paymentMethod	取引の借方または貸方金額が供給業者によって消滅または借方となった方法のコード値/指標(例えば、小切手、電信送金、現金など)。Payment_Type_Listing_YYYYMMDDファイル内のPayment_Typeに一致しなければならない。
11	Payment_Amount	1	NUMERIC		gl-cor:amount	機能通貨またはグループ通貨で記録された取引金額。すべて取引が単一通貨に記録されているため、多通貨換算を実行する必要はない。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
12	Payment_Amount_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountCurrency	支払金額に関連する機能通貨やグループ通貨。ISO 4217コーディングを参照。
13	Payment_Amount_Reporting	1	NUMERIC		gl-muc:amountTriangulationAmount	報告通貨で記録された取引金額。
14	Payment_Amount_Reporting_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountTriangulationCurrency	非連結報告のための支払金額に関連する報告通貨。ISO 4217コーディングを参照。
15	Payment_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での取引金額。
16	Payment_Amount_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-cor:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。
17	Posting_Status	2	TEXT	20	gl-cor:postingStatus enumerations or gl-cor:postingStatus of {other} with gl-cor:postingStatusDescription	総勘定元帳への取引記帳のステータス(例えば、"Posted," "Not Posted")。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
18	GL_Debit_Account_Number	2	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = "debit-value" in a second account structure	取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
19	GL_Credit_Account_Number	2	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = "credit-value" in a second account structure	取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。
20	Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierCategory = "systemUser"	記録を残した人の (User_Listingファイル内の) User_ID。
21	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく)システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
22	Entered_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of glcor:enteredDate, mentioned previously.)	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
23	Approved_By	2	TEXT	100	gl-cor:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の(User_Listingファイルの)ユーザID。
24	Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力が承認された日付。
25	Approved_By_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:nextDateRepeat, mentioned previously.)	入力が承認された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
26	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	この入力を最後に修正したユーザの(User_Listingの)User_ID。
27	Last_Modified_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
28	Last_Modified_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gluk:lastDateRepeat, above)	入力が最後に変更された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。



29	Segment01	2	TEXT	25	<p>gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType</p> <p>(Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)</p>	<p>プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。</p>
30	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
31	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
32	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
33	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

### XBRL GLへの追加コメント

支払済リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。[other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads: Payments_Made_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

## 2.9 AP\_Cash\_Application\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD

AP\_Cash\_Application\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイルは、調査中の期間内に請求書に適用されたすべての現金支払を含む。

このファイルでは、各請求書に適用される各入金に対してそれぞれ1レコードとなる。例えば、1つの支払の領収書が3つの請求書に対して記入された場合、その支払に対しては、3つのレコードがあることになり、1レコードは、入金が適用された各請求書に対応する。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	AP_Application_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference	各取引に一意の識別子。このIDは、各取引を一意に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。
2	AP_Application_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate	入金取引の日付。取引が入力された日とは関係がない。
3	AP_Application_Fiscal_Year	1	TEXT	4	gl-bus:fiscalYearEnd	AP_Application_Dateが記帳された会計期間。 YYYYは区切りに使用される。XBRL GLタクソノミフレームワークのための会計期末CCYY-MM-DD (ISO 8601)。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
4	AP_Application_Period	1	TEXT	10	gl-bus:postingCode	AP_Application_Dateが記帳された会計期間。  例には、週単位の期間としてW1-W53、月単位の期間としてM1-M12、四半期単位の期間としてQ1-Q4を含む。
5	Supplier_Account_ID	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierType = "vendor"	支払先の供給業者の識別子か、買掛計上先の供給業者の識別子。 Supplier_Listing_YYYYMMDDファイル内のSupplier_Account_IDに一致しなければならない。
6	Payment_ID	1	TEXT	100	gl-taf:originatingDocumentNumber with gl-taf:originatingDocumentType = "check" *	Payments_Made_YYYYMMDD_YYYYMMDDファイルの各取引に一意的識別子。 一部またはすべての支払は供給業者の売掛債権に適用される。

7	Invoice_ID	1	TEXT	100	gl-taf:originatingDocumentNumber with gl-taf:originatingDocumentType = "invoice" *	各請求書に一意的識別子。このIDは、各取引を一意的に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。請求書データを含む次のすべてのテーブルと同じIDが使用されていない (Invoices_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD、Open_Accounts_Payables_YYYYMMDD、AP_Cash_Application_YYYYMMDD_YYYYMMDD、およびAP_Adjustments_YYYYMMDD_YYYYMMDD)。 入金顧客レベルのみ(請求書レベルではない)の場合は、空白のままとする。
8	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-organizationIdentifier	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listingファイル内のBusiness_Unit_Codeと一致しなければならない。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
9	Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierCategory = "systemUser"	記録を残した人の (User_Listingファイル内の) User_ID。
10	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく) システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
11	Entered_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of glcor:enteredDate, mentioned previously.)	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻 (HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
12	Approved_By	2	TEXT	100	gl-cor:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の (User_Listingファイルの) ユーザID。
13	Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力が承認された日付。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
14	Approved_By_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:nextDateRepeat, mentioned previously.)	入力が承認された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
15	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	この入力を最後に修正したユーザの (User_Listingの)User_ID。
16	Last_Modified_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
17	Last_Modified_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:lastDateRepeat, mentioned previously.)	入力が最後に変更された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
18	AP_Application_Amount	1	NUMERIC		gl-cor:amount	機能通貨またはグループ通貨で記録された取引金額。すべて取引が単一通貨に記録されているため、多通貨換算を実行する必要はない。

19	Amount_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountCurrency	買掛債務金額に関連する機能通貨やグループ通貨。ISO 4217コーディングを参照。
20	AP_Activity_Amount_Reporting	1	NUMERIC		gl-muc:amountTriangulationAmount	報告通貨で記録された取引金額。
21	Amount_Reporting_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountTriangulationCurrency	非連結報告のための金額に関連する報告通貨。ISO 4217コーディングを参照。
22	AP_Activity_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での取引金額。
23	Amount_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。
24	GL_Line_Debit_Account_Number	2	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = "debit-value" in a second account structure	取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
25	GL_Line_Credit_Account_Number	2	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = "credit-value" in a second account structure	取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。



フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
26	Segment01	2	TEXT	25	gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType  (Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。
27	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
28	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
29	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
30	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

## XBRL GLへの追加コメント

買掛債務入金リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。[other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads: AP_Cash_Application_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

\* 入金は、多くの場合複数の請求書に反映され、請求書は複数の出荷および注文に対して発行されるため、各支払に割り当てられる明細行の関係は独立したentryDetailとして表示され、割り当てられた各明細行と根本的な原始証憑は区別される。

## 2.10 AP\_Adjustments\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD

AP\_Adjustments\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDには、請求書に記載され期間中の請求書の残高に影響を与えるすべての調整(例えば、帳消し、貸方メモ、およびその他の調整など)を含む。ここには、支払額の適用は含まない(それはAP\_Cash\_Application\_YYYYMMDDテーブルに含まれる)。

このファイルでは、各請求書の各調整に対してそれぞれ1レコードとなる。例えば、1つの調整取引が3つの請求書に影響を与える場合、その3つの調整に対する3つのレコードが存在し、1レコードはその調整に影響を受ける各請求書に対応する。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Adjustment_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference	記録された調整に一意の識別子。このIDは、各取引を一意に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
2	Adjustment_Type	1	TEXT	25	gl-cor:documentType using provided enumerations or  gl-cor:documentType = {other} and gl-bus:paymentMethod with codes from AP_Adjustment_Type_Listing_YYMMDD	取引の借方または貸方金額が供給業者によって消滅または借方となった方法のコード値/指標(例えば、貸方メモ、借方メモ、手数料、その他の調整など)。「1.9 AP_Adjustment_Type_Listing_YYMMDD」を参照。
3	Adjustment_Document_Number	1	TEXT	100	gl-cor:documentNumber	外部で作成された調整文書(例えば、貸方メモ)の識別番号。

4	Invoice_ID	1	TEXT	100	gl-taf:originatingDocumentNumber with gl-taf:originatingDocumentType = "invoice"	各請求書に一意的識別子。このIDは、各取引を一意的に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。請求書データを含む次のすべてのテーブルと同じIDが使用されていなければならない(Invoices_Received_YYYYMMDD_YYMMDD、Open_Accounts_Payables_YYYYMMDD、AP_Cash_Application_YYYYMMDD_YYYYMMDD、およびAP_Adjustments_YYYYMMDD_YYYYMMDD)。 調整が顧客レベルのみ(請求書レベルではない)の場合は、空白のままとする。
5	Adjustment_Date	1	DATE	100	gl-cor:postingDate	取引の日付。取引が入力された日付とは関係がない。
6	Adjustment_Fiscal_Year	1	TEXT	4	gl-bus:fiscalYearEnd	Receipt_Dateが記帳された会計年度。YYYYは区切りに使用される。XBRL GLタクソノミフレームワークのための会計期末CCYY-MMDD(ISO 8601)。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
7	Adjustment_Period	1	TEXT	10	gl-bus:postingCode	Receipt_Dateが記帳された会計期間。  例には、週単位の期間としてW1-W53、月単位の期間としてM1-M12、四半期単位の期間としてQ1-Q4を含む。
8	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-bus:organizationIdentifier	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listingファイル内のBusiness_Unit_Codeと一致しなければならない。
9	Supplier_Account_ID	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierType = "vendor"	支払先の供給業者の識別子か、買掛計上先の供給業者の識別子。Supplier_Listing_YYYYMMDDファイル内のSupplier_Account_IDに一致しなければならない。
10	Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierCategory = "systemUser"	記録を残した人の(User_Listingファイル内の)User_ID。

11	Entered_Date	1	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく)システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
12	Entered_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of glcor:enteredDate, above)	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
13	Approved_By	2	TEXT	100	gl-cor:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の(User_Listingファイルの)ユーザID。
14	Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力が承認された日付。
15	Approved_By_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:nextDateRepeat, mentioned previously.)	入力が承認された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
16	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	この入力を最後に修正したユーザの (User_Listingの) User_ID。
17	Last_Modified_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
18	Last_Modified_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of gllastDateRepeat, mentioned previously.)	入力が最後に変更された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻 (HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
注記: 詳細 (明細項目) データが提供される場合、次のフィールドは省略される場合がある。						
19	Adjustment_Amount	1	NUMERIC		gl-cor:amount	機能通貨またはグループ通貨で記録された取引金額。すべて取引が単一通貨に記録されているため、多通貨換算を実行する必要はない。
20	Adjustment_Amount_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountCurrency	調整金額に関連する機能通貨やグループ通貨。ISO 4217コーディングを参照。
21	Adjustment_Amount_Reporting	1	NUMERIC		gl-muc:amountTriangulationAmount	報告通貨で記録された取引金額。
22	Adjustment_Reporting_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountTriangulationCurrency	非連結報告のための調整の報告金額に関連する報告通貨。ISO 4217コーディングを参照。



フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
23	Adjustment_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での取引金額。
24	Adjustment_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。
25	Tax1_Type	1	TEXT	25	gl-cor:taxCode (Note that XBRL GL permits an unlimited number of tax codes and amounts with the gl-cor:taxes structure.)	税1タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。  このフィールドは、Tax_Table_YYYYMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。
26	Tax2_Type	1	TEXT	25	同上	税2タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。  このフィールドは、Tax_Table_YYYYMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
27	Tax3_Type	1	TEXT	25	同上	税3タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。このフィールドは、Tax_Table_YYYYMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。
28	Tax1_Type_Description	1	TEXT	100	gl-cor:taxDescription (Note that XBRL GL formalizes the tax authority with gl-cor:taxAuthority and provides other standard fields as well.)	税1タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
29	Tax2_Type_Description	1	TEXT	100	同上	税2タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
30	Tax3_Type_Description	1	TEXT	100	同上	税3タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
31	Tax1_Local	2	NUMERIC		gl-cor:taxAmount	税1タイプの金額は、取引に含ま

						れている。現地通貨で記録される。
32	Tax2_Local	2	NUMERIC		同上	税2タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。
33	Tax3_Local	2	NUMERIC		同上	税3タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。
34	GL_Debit_Account_Number	2	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = "debit-value" in a second account structure	取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
35	GL_Credit_Account_Number	2	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = "credit-value" in a second account structure	取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
36	GL_Tax1_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	XBRL GL does not have fields explicitly associating GL accounts to tax, although it does permit specification of accounts as tax accounts (gl-cor:accountPurposeCode); it associates tax detail in the glcor:taxes structure with specific accounts by including them within the same gl-cor:entryDetail if the gl-cor:amount is the same, or within the same glcor:entryHeader if amounts differ. As with the previous GL lines, the account numbers would be mapped to gl-cor:accountMainID.	税1の取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
37	GL_Tax1_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税1の取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。
38	GL_Tax2_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税2の取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
39	GL_Tax2_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税2の取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。
40	GL_Tax3_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税3の取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
41	GL_Tax3_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税3の取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。

42	Segment01	2	TEXT	25	gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType  (Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and gl-cor:accountSubType, respectively.)	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。
43	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
44	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
45	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
46	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

## XBRL GLへの追加コメント

買掛債務調整リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。 [other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads: AP_Adjustments_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通して いるものを説明する説明フィールドであ り、 この表現に関連して収集するタイプの監 査データ標準の名前空間と修飾子を導入 する。

\* 調整は、複数の根本的な原始証憑を表す場合があり、各調整の関連は独立したentryDetailとして表示され、調整と根本的な原始証憑は区別される。

## 2.11 AP\_Adjustments\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD

AP\_Adjustments\_Lines\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイルには、AP\_Adjustments\_YYYYMMDD\_YYYYMMDDファイル内にある請求書の詳細な明細項目が含まれる。このファイルの使用は任意であるが、管理しきれないデータ容量ではない限り、使用することが推奨される。

このファイルでは、各調整に影響を受ける請求書の各明細項目に対してそれぞれ1レコードとなる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Adjustment_ID	1	TEXT	100	gl-cor:documentReference	記録された調整に一意的識別子。このIDは、各取引を一意的に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。



フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
2	Invoice_ID	1	TEXT	100	gl-taf:originatingDocumentNumber with gl-taf:originatingDocumentType = "invoice"	各請求書に一意の識別子。このIDは、各取引を一意に識別するためのフィールド(例えば、文書番号、文書種別、および年)を連結することによって作成される必要がある。請求書データを含む次のすべてのテーブルと同じIDが使用されていない (Invoices_Received_YYYYMMDD_YYMMDD、Open_Accounts_Payables_YYMMDD、AP_Cash_Application_YYMMDD_YYYYMMDD、およびAP_Adjustments_YYYYMMDD_YYYYMMDD)。調整が顧客レベルのみ(請求書レベルではない)の場合は、空白のままとする。
3	Invoice_Line_ID	1	TEXT	10	gl-cor:lineNumber*	請求書の明細項目番号。  調整が顧客レベルのみ(請求書レベルではない)の場合は、空白のままとする。

4	Adjustment_Line_Amount	1	NUMERIC		gl-cor:amount	機能通貨またはグループ通貨で記録された取引金額。すべて取引が単一通貨に記録されているため、多通貨換算を実行する必要はない。
5	Adjustment_Line_Amount_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountCurrency	調整金額に関連する機能通貨やグループ通貨。ISO 4217コーディングを参照。
6	Adjustment_Line_Amount_Reporting	1	NUMERIC		gl-muc:amountTriangulationAmount	報告通貨で記録された取引金額。
7	Adjustment_Line_Reporting_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountTriangulationCurrency	非連結報告のための調整の報告金額に関連する報告通貨。ISO 4217コーディングを参照。
8	Adjustment_Line_Amount_Local	1	NUMERIC		gl-muc:amountOriginalAmount	現地通貨での取引金額。
9	Adjustment_Line_Local_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrency	現地国の報告で要求される通貨。ISO 4217コーディングを参照。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
10	Tax1_Type	1	TEXT	25	gl-cor:taxCode (Note that XBRL GL permits an unlimited number of tax codes and amounts with the glcor:taxes structure.)	税1タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。 このフィールドは、Tax_Table_YYY YMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。
11	Tax2_Type	1	TEXT	25	同上	税2タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。 このフィールドは、Tax_Table_YYY YMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。
12	Tax3_Type	1	TEXT	25	同上	税3タイプのコード(例: 売上税、付加価値税)。 このフィールドは、Tax_Table_YYY YMMDDのRegulator_Codeフィールドと一致する必要がある。

13	Tax1_Type_Description	1	TEXT	100	gl-cor:taxDescription (Note that XBRL GL formalizes the tax authority with gl-cor:taxAuthority and provides other standard fields as well.)	税1タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
14	Tax2_Type_Description	1	TEXT	100	同上	税2タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
15	Tax3_Type_Description	1	TEXT	100	同上	税3タイプの説明(例: 税を支払う税務当局や、税を特定するためのその他の情報など)。
16	Tax1_Local	2	NUMERIC		gl-cor:taxAmount	税1タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。
17	Tax2_Local	2	NUMERIC		同上	税2タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。
18	Tax3_Local	2	NUMERIC		同上	税3タイプの金額は、取引に含まれている。現地通貨で記録される。
19	GL_Line_Debit_Account_Number	2	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = “debit-value” in a second account structure	取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
20	GL_Line_Credit_Account_Number	2	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with glcor:accountPurposeDescription = "credit-value" in a second account structure	取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。
21	GL_Tax1_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	XBRL GL does not have fields explicitly associating GL accounts to tax, although it does permit specification of accounts as tax accounts (gl-cor:accountPurposeCode); it associates tax detail in the glcor:taxes structure with specific accounts by including them within the same gl-cor:entryDetail if the glcor:amount is the same, or within the same gl-cor:entryHeader if amounts differ. As with the GL lines above, the a	税1の取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。

					ccount numbers would be mapped to gl-cor:accountMainID.	
22	GL_Tax1_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税1の取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。
23	GL_Tax2_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税2の取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
24	GL_Tax2_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税2の取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。
25	GL_Tax3_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税3の取引において借方に記帳されたGL勘定科目の番号。
26	GL_Tax3_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	同上	税3の取引において貸方に記帳されたGL勘定科目の番号。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
27	Segment01	2	TEXT	25	gl-cor:accountSubID with associated gl-cor:accountSubType (Note:XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.)	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。
28	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
29	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
30	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	上記参照
31	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	上記参照

#### XBRL GLへの追加コメント

買掛債務調整リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。[other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads:AP_Adjustments_Lines_YYYYMMDD_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

\* 調整は、複数の根本的な原始証憑を表す場合があり、各調整明細行の関係は独立したentryDetailとして表示され、調整明細行と根本的な原始証憑は区別される。



## 2.12 Payment\_Type\_Listing\_YYYYMMDD

Payment\_Type\_Listing\_YYYYMMDDファイルには、Payment\_Typeコードの詳細な説明が含まれる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Payment_Type	1	TEXT	25	gl-bus:paymentMethod	取引の借方または貸方金額が供給業者によって消滅または借方となった方法のコード値/指標。
2	Payment_Type_Description	1	TEXT	100	gl-cor:documentTypeDescription	取引のタイプを示すコード値の説明(小切手、電信送金、現金など)。

### XBRL GLへの追加コメント

XBRL GLは、gl-cor:documentTypeに計数値を使用して、異なるタイプの取引文書と関連する目的を区別する。Payment\_Type\_Listing\_YYYYMMDDとARPAAdjustment\_Type\_Listingの記録における違いは、gl-cor:documentTypeを含めることによって、Payment\_Type\_Listing\_YYYYMMDDの場合は支払の種別(例えば、小切手、その他の支払)、PR\_Adjustment\_Type\_Listing\_YYYYMMDDの場合は調整の種別(例えば、借方メモ、貸方メモ、手数料、手動調整など)を表すことである。

次に、仕入・支払で最も幅広く使用されるものを列挙する。

小切手 (check)
借方メモ (debit-memo)

貸方メモ (credit-memo)
手数料 (finance-charge)
請求書 (invoice)

注文顧客 (order-customer)
その他の支払 (payment-other)
催促状 (reminder)
手形 (tegata)
出荷 (shipment)
領収書 (receipt)
手動調整 (manual-adjustment)
その他 (other)

支払種別リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。 [other]は列挙型の値である。

gl-cor: entriesComment	value = “ads:Payment_Type_Listing_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。
------------------------	---	---

### 2.13 AP\_Adjustment\_Type\_Listing\_YYYYMMDD

AP\_Adjustment\_Type\_Listing\_YYYYMMDDファイルには、AP\_Adjustment\_Typeコードの詳細な説明が含まれる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	AP_Adjustment_Type	1	TEXT	25	gl-bus:paymentMethod	取引の借方または貸方金額が供給業者によって消滅または借方となった方法のコード値/指標。
2	AP_Adjustment_Type_Description	1	TEXT	100	gl-cor:documentTypeDescription	取引のタイプを示すコード値の説明(例えば、貸方メモ、借方メモ、手数料、その他の調整など)。

## XBRL GLへの追加コメント

XBRL GLは、gl-cor:documentTypeに計数値を使用して、異なるタイプの取引文書と関連する目的を区別する。Payment\_Type\_Listing\_YYYYMMDDとAP\_Adjustment\_Type\_Listingの記録における違いは、gl-cor:documentTypeを含めることによって、Payment\_Type\_Listing\_YYYYMMDDの場合は支払の種別(例えば、小切手、その他の支払)、AP\_Adjustment\_Type\_Listing\_YYYYMMDDの場合は調整の種別(例えば、借方メモ、貸方メモ、手数料、手動調整など)を表すことである。

次に、仕入・支払で最も幅広く使用されるものを列挙する。

小切手 (check)
借方メモ (debit-memo)
貸方メモ (credit-memo)
手数料 (finance-charge)
請求書 (invoice)

注文顧客 (order-customer)
その他の支払 (payment-other)
催促状 (reminder)
手形 (tegata)
出荷 (shipment)
領収書 (receipt)
手動調整 (manual-adjustment)
その他 (other)

買掛債務調整種別リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。 [other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads:AP_Adjustment_Type_Listing_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

## 2.14 Supplier\_Listing\_YYYYMMDD

Supplier\_Listing\_YYYYMMDDファイルには、調査中の期間に生じる変更に対応するために、1回以上データが生成されることが求められる。ファイルが生成される日付はファイル名の一部として記録される。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
1	Supplier_Account_ID	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode for internal # with gl-cor:identifierType = "vendor"	支払先の供給業者の識別子か、買掛計上先の供給業者の識別子。
2	Supplier_Account_Name	1	TEXT	100	gl-cor:identifierDescription	供給業者の名前。
3	Supplier_Group	2	TEXT	100	gl-cor:identifierCategory	組織によって供給業者をグループに区分する場合、この供給業者が区分されるグループ。
4	Supplier_Physical_Street_Address1	1	TEXT	100	gl-bus:identifierStreet (*) with glbus:identifierAddressPurpose = "physical"	供給業者の住所の行1。
5	Supplier_Physical_Street_Address2	1	TEXT	100	gl-bus:identifierAddressStreet2*	供給業者の住所の行2。
6	Supplier_Physical_City	1	TEXT	100	gl-bus:identifierCity*	供給業者が位置する都市。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
7	Supplier_Physical_State_Province	1	TEXT	6	gl-bus:identifierStateOrProvince*	供給業者が位置する国や都道府県。ISO 3166-2を推奨。
8	Supplier_Physical_ZipPostalCode	1	TEXT	20	gl-bus:identifierZipOrPostalCode*	供給業者が位置する都市の郵便番号。
9	Supplier_Physical_Country	1	TEXT	3	gl-bus:identifierCountry*	供給業者が位置する国別コード。ISO 3166-1アルファ2またはISO 3166-1アルファの3形式(XXまたはXXX)を推奨。
10	Supplier_TIN	1	TEXT	100	gl-cor:identifierAuthorityCode for tax #	供給業者の納税者番号。
11	Supplier_Billing_Address1	1	TEXT	100	gl-bus:identifierStreet(**) with glbus:identifierAddressPurpose = "billing"	供給業者の請求先住所1。
12	Supplier_Billing_Address2	1	TEXT	100	gl-bus:identifierAddressStreet2**	供給業者の請求先住所2。
13	Supplier_Billing_City	1	TEXT	100	gl-bus:identifierCity**	供給業者の請求先の都市。
14	Supplier_Billing_State_Province	1	TEXT	6	gl-bus:identifierStateOrProvince**	供給業者の請求先の国。ISO 3166-2を推奨。

15	Supplier_Billing_ZipPostalCode	1	TEXT	20	gl-bus:identifierZipOrPostalCode**	供給業者の請求先の郵便番号。
16	Supplier_Billing_Country	1	TEXT	3	gl-bus:identifierCountry**	供給業者の請求先の国番号。ISO 3166-1アルファ2またはISO 3166-1アルファの3形式(XXまたはXXX)を推奨。
17	Active_Date	2	DATE		XBRL GL uses gl-cor:identifierActive to note that the supplier is currently active or inactive. gl-cor:dateAcknowledged	供給業者がアクティブとなった日付。
18	Inactive_Date	2	DATE		gl-cor:confirmedDate	供給業者が非アクティブとなった日付。
19	Transaction_Credit_Limit	2	NUMERIC		gl-muc:amountRestatedAmount	供給業者によって確立された請求書与信限度。
20	Overall_Credit_Limit	2	NUMERIC		gl-cor:amount	供給業者に承認された合計未払残高に対する与信限度。



フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
21	Terms_Discount_Percentage	2	NUMERIC		gl-cor:terms	請求書の一定の日数前に支払われる場合の供給業者が提示する割引率。フラットファイルでは、小数点以下1桁として表現される(例えば、10%が10.0として表現される)。拡張事業報告言語のXBRL GLタクソノミフレームワークにおいては、3つのフィールドTerms_Discount_Percentage、Terms_Discount_DaysおよびTerms_Due_Daysの3つのフィールドは、「xx.x% dd Net dd」の形式で入力されることになる。例えば実質支払期間が30日で、10日以内に支払うと2%割引となる場合では「2% 10 Net 30」で表現される。
22	Terms_Discount_Days	2	NUMERIC		See description for field number 8	請求書日付からの日数は、供給業者が割引を許可するために有利である。これは小数点以下がない桁数(例えば、nnn)として数字として表現される。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	説明
			データ型	長さ		
23	Terms_Due_Days	2	NUMERIC		See description for field number 8; explicit in gl-cor:maturityDate	請求書に対する支払遅延となる前の、支払義務を果たすことが可能な日数。
24	Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with glcor:identifierCategory = "systemUser"	記録を残した人の (User_Listingファイル内の) User_ID。
25	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく) システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
26	Entered_Time	2	TIME		(This is included in the ISO 8601 representation of glcor:enteredDate, mentioned previously.)	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻 (HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
27	Approved_By	2	TEXT	100	gl-cor:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の (User_Listingファイルの) ユーザID。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GLタクソノミ要素	説明
---------	--------	-----	-------------	----------------	----

ド 番 号			データ型		長さ		
28	Approved_By_Date	2	DATE			gl-cor:confirmedDateRepeat	入力が承認された日付。
29	Approved_By_Time	2	TIME			(This is included in the ISO 8601 representation of glusk:confirmedDateRepeat, mentioned previously.)	入力が承認された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
30	Last_Modified_By	2	TEXT	100		gl-bus:enteredByModified	この入力を最後に修正したユーザの (User_Listingの)User_ID。
31	Last_Modified_Date	2	DATE			gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
32	Last_Modified_Time	2	TIME			(This is included in the ISO 8601 representation of gl-usk:lastDateRepeat, mentioned previously.)	入力が最後に変更された時間。ISO 8601表記の24時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
33	PrimaryContact_Name	2	TEXT	100		gl-cor:identifierContactAttentionLine	供給業者の一次連絡先の名前。
34	PrimaryContact_Phone	2	NUMERIC			gl-cor:identifierContactPhoneNumber	供給業者の一次連絡先の電話番号。
35	PrimaryContact_Email	2	TEXT	100		gl-cor:identifierContactEmailAddress	供給業者の一次連絡先の電子メールアドレス。

### XBRL GLへの追加コメント

供給業者リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “account”	[entriesType]は必須フィールドである。[other]は列挙型の値である。
gl-cor: entriesComment	value = “ads:Supplier_Listing_YYYYMMDD”	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。

### 3.0 仕入・支払標準データプロファイルングレポート

抽出されるデータの各セットについては、次のテストがデータプロバイダによって行なわれ、監査人によって独立して確認されるべきである。妥当性検証は、データが要求される各期間の間で行なわれるべきである。データ妥当性検証は下記を含んでいる。

テスト	説明
日付とコントロールトータル	
Required files (要求されているファイル)	要求されたすべてのファイルおよびデータフィールドが提供されていることを確認する。
Date ranges (日付範囲)	<p>次の日付における最小値および最大値。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Purchase_Orders_YYYYMMDD_YYYYMMDD               <ul style="list-style-type: none"> <li>- Purchase_Order_Date</li> <li>- Entered_Date</li> </ul> </li> <li>• Goods_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD               <ul style="list-style-type: none"> <li>- Transaction_Date</li> <li>- Entered_Date</li> </ul> </li> <li>• Invoices_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD               <ul style="list-style-type: none"> <li>- Invoice_Date</li> <li>- Invoice_Due_Date</li> <li>- Entered_Date</li> </ul> </li> <li>• Open_Accounts_Payables_YYYYMMDD、               <ul style="list-style-type: none"> <li>- Invoice_Date</li> <li>- Invoice_Due_Date</li> </ul> </li> <li>• AP_Cash_Application_YYYYMMDD_YYYYMMDD               <ul style="list-style-type: none"> <li>- AP_Activity_Date</li> <li>- Entered_Date</li> </ul> </li> <li>• Payments_Made_YYYYMMDD_YYYYMMDD</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Payment_Date</li> <li>- Entered_Date</li> <li>• AP_Adjustments_YYYYMMDD_YYYYMMDD <ul style="list-style-type: none"> <li>- Adjustment_Date</li> <li>- Entered_Date</li> </ul> </li> <li>• Supplier_Listing_YYYYMMDD - Entered_Date</li> </ul>
Control totals(コントロールトータル)	<p>次の場合におけるレコード数と金額フィールドの合計。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Purchase_Orders_YYYYMMDD_YYYYMMDD</li> <li>• Goods_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD</li> <li>• Invoices_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD</li> <li>• Open_Accounts_Payables_YYYYMMDD、</li> <li>• AP_Cash_Application_YYYYMMDD_YYYYMMDD</li> <li>• Payments_Made_YYYYMMDD_YYYYMMDD</li> <li>• AP_Adjustments_YYYYMMDD_YYYYMMDD</li> </ul>

データレビュー	
Missing data(欠損データ)	フィールドによって表示された欠損や空白値の数。
Invalid data(不適切なデータ)	フィールドフォーマットの要件に準拠していないフィールドのレコードの数(例えば、日付や時刻フォーマットに準拠していない日付や時間、小数点以下2桁を含まない数値フィールドなど)。

---

## 4.0 仕入・支払 質問事項

次の情報は企業のITデータについての理解および利用に不可欠である。企業の財務管理をそのIT担当者とのコンサルテーションによって行う場合、可能な限り、データが提供されるごとにその項目の各々を管理対象とするべきである。これらの質問は、すべてを含むことは意図しておらず、例示として示されている。このデータ標準を導入する前に、内部統制の利用と職務分離のテストを通じてシステムのデータの信頼度が評価されるべきである。

### 仕入・支払

次の事項を考慮すること。

1. データの提供は、明細項目レベル(例えば、仕入注文の明細項目ごと、請求書の明細項目ごと、受領帳票の明細項目ごと)か。または、総計レベル(例えば、仕入注文ごと、請求書ごと、領収書ごと)か。
2. 提供されないレベル1およびレベル2のデータフィールドはどれか。
3. 買掛債務は供給業者の請求書から追跡されるのか。または、供給業者に総計で追跡されるのか。
4. 一部支払はどのように処理されるか。一部支払が処理される場合、原本請求書は残りの不足額を記録した補助元帳の中に保持されるか。あるいは、一部支払が行われた時点で記録される債務残高とともに新しい請求書が発行されるのか。新しい請求書が作成される場合、それらはどのようにシステムで識別されるか。
5. 新しい請求書が原本請求書の一部支払により生成される場合、原本の支払日は保持されるか。それとも、新しい支払日が新しい請求書のために生成されるか。
6. システムは、どのようにして請求書の年齢を計算するか。請求書期日あるいは支払日に基づくか。

- 
7. どのように、関連当事者との取引は識別されるか(例えば、完全子会社あるいは部分所有子会社との取引など)。
  8. 支払残高が支払われた時点での未決の明細項目テーブル内の請求書についての組織としての管理ポリシーは何か。
  9. 支払のポリシーは何か。支払が適用されるのは、特定の文書のみか、日付が古い支払残高か、供給業者口座か。
  10. 供給業者の債務と、そうではないものをどのように区別するか。

### ユーザおよび事業単位管理

次の事項を考慮すること。

1. 取引承認あるいは取引変更はシステム内に取り込まれているか。
2. アクセスすべき変更およびマスターファイルテーブルを作成し、修正し、承認することができる権限を持っているユーザは誰であるか。
3. システムは、どのように取引番号の再使用や手動による上書きを防いでいるか。
4. すべての取引の時間フィールドは単一のタイムゾーンに正規化されているか。正規化されている場合、タイムゾーンは何か。